

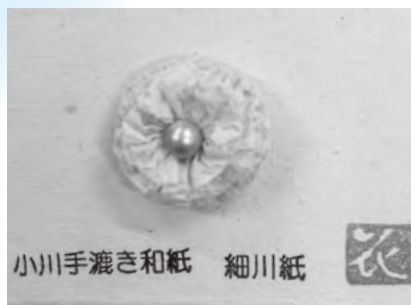
議員倶楽部から

細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年」 小川和紙のさらなるPRに一步!

小川和紙製 議員バッジ

子供議会時に「子供議員バッジ」の制作を依頼した和紙作家・中島知子さんに相談し、小川和紙製の「議員バッジ」を新調。そのでき栄えの高さに一同感涙。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を世界に発信していく。



2つのバッジをつけ議場へ

第76回小川七夕まつり 議会の竹飾り



和気あいあいとくす玉用の花作りに取り組む議員

ひと月以上も前から準備を進め、2年振りに「議会の竹飾り」を立てた第76回小川七夕まつり。和紙産業の振興と町民の幸せを願って結った短冊の数々。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を盛り上げていく。

議員は学び続け、議会は討議し結論を出す 議長 高橋 功人

コロナ禍を乗り越えた3常任委員会は、町の現状と課題を把握するためスピード感を持って学びを進めている。

町民の声を聴く場「地区懇談会」を設けることについては、来年早々に方向性を出す。第2の課題は「議員定数の見直し」である。議会として、責任を果たす「定数」を根本から見直したい。

また、議員間討議を続ける過程で、埼玉県町村議長会へ「①環状1号線の早期開通と延伸 ②学校給食費の無償化に向け国へ要望」の2つの要望事項を提出した。



議会運営委員会から

議会主催の(仮称)「地区懇談会」 令和7年1月の プレ開催に向けて一步!

去る4月24日に、議長が議会運営委員会に対し、(仮)地区懇談会の開催に係る「諮問」をした。

「答申」に向けて即応した議運は、早速、調査研究をスタート。令和7年度以降の本格実施を目指し、令和7年1月のプレ開催に向けて取組を加速する。「続報」に乞うご期待!



より開かれた議会に向けて

諮問内容

- ① 地区懇談会の目的
- ② 実施計画
- ③ 住民への事前調査
- ④ 会場・実施回数・規模
- ⑤ 運営方法
- ⑥ 実施後の取組

厚生文教常任委員会から

町社会福祉協議会との「勉強会」 地域包括ケアシステム 構築に向けて一步!

去る5月23日に、厚生文教常任委員会が企画した町社協との勉強会に15議員が参加し、取組の現況を確認・共有した。特に町から受託している「地域包括支援センター」の業務は、高齢者本人や家族等からの相談を一手に引き受ける相談窓口として重要な役割を担っている。高齢化率4割超となった当町の地域包括ケアシステム構築の要である町社協の取組に「星3つ!!」



熱く語る社協の岸田局長

令和5年9月定例会号(No.109)から始まったこのシリーズも4回目を迎えた。意見交換会の合間に先進地や地元公共施設の視察、各種勉強会の開催などを通じて見識を深めてきた。「議会の改革・活性化」の実を上げるべく、これからも全力で取り組んでいく。

進み続ける議会

新シリーズ
16の一步!!